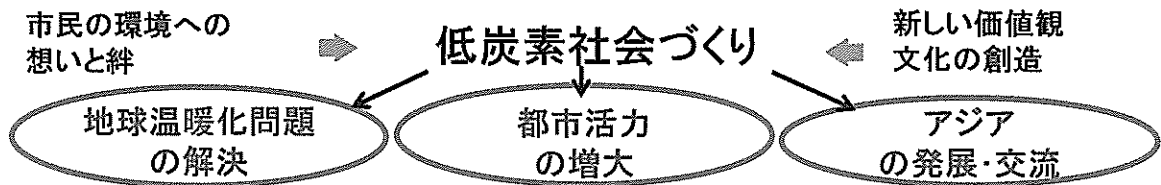


# 北九州環境みらい学習システムの構築

北九州市環境モデル都市行動計画～北九州グリーンフロンティアプラン～での位置づけ



CO <sub>2</sub> 削減目標(2050年) (現在の排出量:1,560万トﾝ/年)	北九州市域: 50%	アジア地域: 150%相当
--	------------	---------------



**低炭素社会総合学習システム(仮称: Super CAT)の整備**  
 ... 北九州市が整備してきた環境ミュージアムなどの環境学習施設を低炭素社会に即して充実し、低炭素社会を見て感じる具現化モデルとして、「八幡東田グリーンビレッジ構想」や「響灘次世代エネルギーパーク」などの「面的見える化事業」と一体的に低炭素学習システムとして体系化を図るとともに、あらゆる世代が、低炭素社会の基礎知識から実践フィールドまでを学べる総合学習システムを整備する。

## 取組スケジュール

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
システムの方向性等 とりまとめ	体制整備	一部稼働	総合学習システム本格稼働

# 北九州環境みらい学習システムの構築

<目的> 低炭素・生物多様性社会に真正面からチャレンジする市民力を育む

## 1. 学習プログラムの体系化

- 縦軸  
対象は、子どもから大人まで、市内外、海外も網羅
- 横軸  
テーマは、6つ  
①生物多様性、②家、③食、④資源循環、⑤ものづくり、⑥コミュニティと行政施策

例えば **テーマ: 食環境づくり**

どこから	参加者	内容	具体的内容	対処施設	参加者に期待する実践例
市内外	市民講座	農業体験教室への参加	畜産や農作物の栽培を体験する	総合農事センター	地元産を購入する
	小学生	トマト狩り体験とトマト料理	地元で採れる野菜を地元で食べる幸せを実感	若松区農家市内飲食店	日常的に地元産の野菜を食べる
市外	行政視察	地産地消活動支援「地元いちばん」	ネットワークづくりや市民啓発について学ぶ	産業経済局	学んだ知見を自らのまちで応用する
	修学旅行	たけのこ掘り体験	高級食材である合馬竹の子の美味しさを味わう	小倉南区合馬たけのこ園	家族旅行でたけのこ狩りに訪れる
海外	観光旅行	活気あふれる市場で味覚を満喫	大學井で北九州の食を自由に楽しむ	旦過市場	北九州の食文化の多様性を広める

# 北九州環境みらい学習システムの構築

<目的> 低炭素・生物多様性社会に真正面からチャレンジする市民力を育む

## 2. 事前学習から始まる学習ツアー

- ストーリー性を持たせた学習プログラムの組み合わせ
- 予習・復習テキスト作成
- 移動、宿泊、飲食店も学習素材の対象に
- お土産やエコランチなど新たなビジネスの創出
- 環境モデル都市九州・沖縄3都市連合等との広域連携

例えば テーマ: 持続可能な未来を実現するものづくり

### ■ コンセプト

考え方	・環境経営を目指す企業への北九州誘致
対象層	・企業、ベンチャー(規模問わず)
参加人数	・参加企業数問わず
ポイント	・環境ブランド形成への支援力を伝える ・市内の先進事例(エコプレミアム)に学ぶ ・北九州のエコライフスタイルを体験する
効果	・北九州市進出への検討材料が増える



※ イメージ写真

### ■ プログラム構成

- 教育・基礎研究における環境、○技術・実証研究における支援、○事業化支援
- エコプレミアムの考え方と資源循環型ものづくりについて学ぶ、○スマートコミュニティで環境に優しいまちづくりや次世代エネルギーを学ぶ

### ■ ツアー内容

時間	場所	内容
1日目 午後	市内関係施設	・全体レクチャー(事前に視察希望施設等は確認済み)
		・希望施設にて視察やレクチャー ・エコプレミアム(エコタウンセンター内) ・エコホテルに宿泊
1日目 夜	夜(オプション)	・工場群夜景鑑賞バスツアー
2日目 午前	市内関係施設	・東田地区視察(スマートコミュニティ)
		・意見交換(今後の課題や進出可能性を探る) ※市役所関係課担当者

# 北九州環境みらい学習システムの構築

<目的> 低炭素・生物多様性社会に真正面からチャレンジする市民力を育む

## 3. 市民の自律的行動変革

- 市民センター等身近な場所でのESD活動を広める。
- 環境首都検定や環境家計簿など行動変革を確認できる指標や仕組みを整備

[ESD普及活動]

区	活動拠点・主体
門司区	松ヶ江南市民センター
小倉北区	藍島
小倉南区	若園市民センター
若松区	鳥がさえずる緑の回廊植樹実行委員会
八幡西区	熊西市民センター
戸畑区	戸畑図書館

[環境首都検定テキスト&環境家計簿]



# 北九州環境みらい学習システムの構築

<目的> 低炭素・生物多様性社会に真正面からチャレンジする市民力を育む

## 4. 人材育成

- 市民、NPO、学校、大学、企業等と連携して、「(仮称)北九州環境リーダーみらい塾」を創設

例えば

- 学習プログラム・ツアーを作成する人材
- 学習ツアーをコーディネートする人材
- ツアーにかかる施設予約・宿泊手配・交通手配を行う人材
- 情報収集・発信を行う人材
- 市民センター等地域で環境学習を推進する人材

など

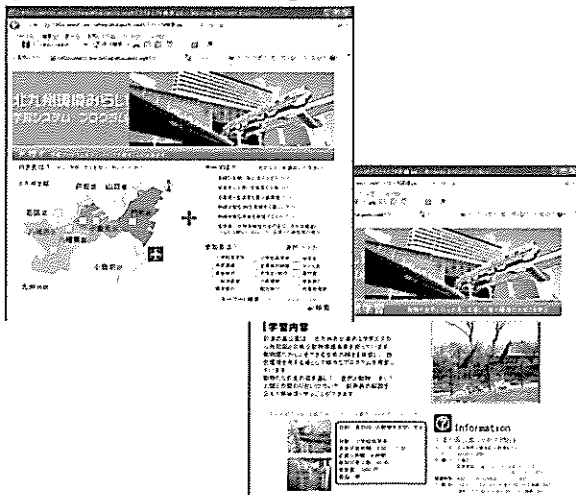
# 北九州環境みらい学習システムの構築

<目的> 低炭素・生物多様性社会に真正面からチャレンジする市民力を育む

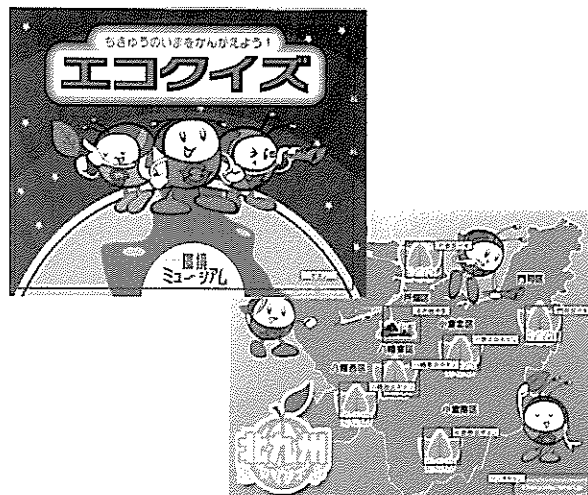
## 5. 情報発信

- おしゃれ、面白い、行ってみたいと思わせる魅力的で分かりやすいホームページやパンフレット
- 誰もが簡単に操作できるツールの整備

[ホームページ(イメージ)]



[環境ゲーム]

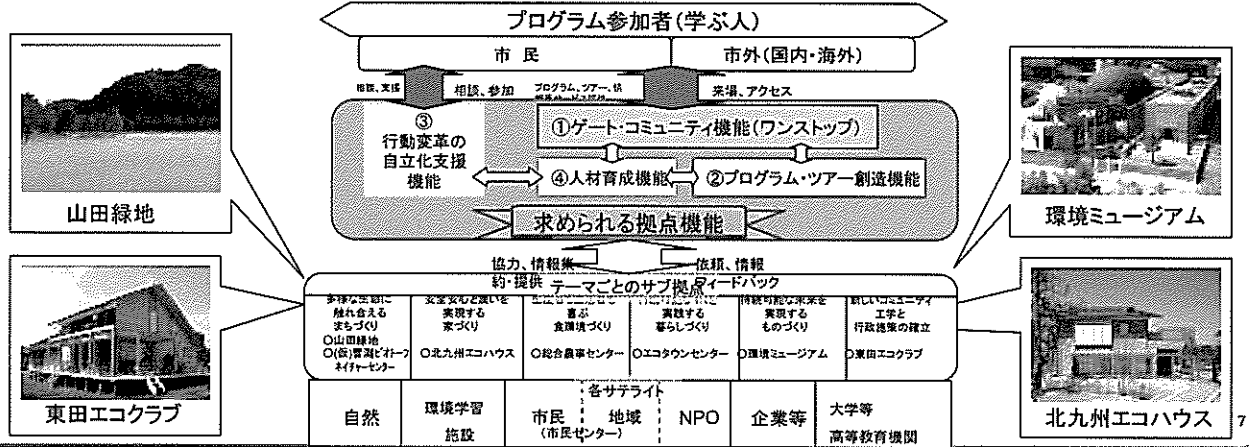


# 北九州環境みらい学習システムの構築

<目的> 低炭素・生物多様性社会に真正面からチャレンジする市民力を育む

## 6. 拠点及びネットワーク

- ゲート・コミュニティ機能(情報ワンストップ)
  - 学習プログラム・ツアー創造機能
  - 自律的行動変革支援機能
  - 人材育成機能
  - コーディネート・ネットワーク機能
- 6つのテーマ毎にサブ拠点を充実(山田緑地・北九州エコハウスほか)



# 北九州環境みらい学習システムの構築

<目的> 低炭素・生物多様性社会に真正面からチャレンジする市民力を育む

つまり、北九州環境みらい学習システムで学べば

- 学ぶだけでなく自ら考え、計画し、行動する「創る力」が育つ
- 一人だけで取り組むのではなく地域とつながってみんなで取り組む「地域コミュニティの力」が育つ
- 一方的に学ぶのではなく相互に伝え合い、学び合う「共有する力」が育つ

環境未来都市の原動力